

令和3年度

予算説明書

交通局

目 次

自動車運送事業会計

1	業務の予定量		1 頁
2	収支の予定額		2 頁
3	事項別説明		5 頁
4	債務負担行為		13 頁
5	企業債		14 頁
6	一時借入金		14 頁
7	職員定員表		15 頁

高速度鉄道事業会計

1	業務の予定量		17 頁
2	収支の予定額		18 頁
3	事項別説明		21 頁
4	債務負担行為		30 頁
5	企業債		31 頁
6	一時借入金		31 頁
7	職員定員表		32 頁

令和 3 年度予算の概要

1	重 要 事 項	33 頁
①	バ ス の 運 行 ・ 施 設	33 頁
②	地 下 鉄 の 運 行 ・ 施 設	37 頁
③	両 事 業 の 管 理 ・ 営 業	43 頁
2	財 政 支 援	46 頁

自動車運送事業会計

1 業務の予定量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
最 多 運 転 車 両 数 (両)	1 日 平 均	907	908	△ 1
	年 間	36,171,500	36,281,000	△ 109,500
運 転 千 口 (k m)	1 日 平 均	99,100	99,400	△ 300
	年 間	36,171,500	36,281,000	△ 109,500
乗 車 人 員 (人)	1 日 平 均	310,800	358,800	△ 48,000
	年 間	113,442,000	130,962,000	△ 17,520,000
運 輸 収 益 (千 円)	1 日 平 均	44,974	51,209	△ 6,235
	年 間	16,415,656	18,691,277	△ 2,275,621

2 収支の予定額

(収益的収支)

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
(収 入)			
自動車運送事業収益	25,781,905	27,110,049	△ 1,328,144
営 業 収 益	20,362,510	22,691,810	△ 2,329,300
営 業 外 収 益	5,419,395	4,418,239	1,001,156
収 入 合 計	25,781,905	27,110,049	△ 1,328,144

(支 出)			
自動車運送事業費	26,671,924	26,950,359	△ 278,435
営 業 費 用	25,890,671	26,118,037	△ 227,366
営 業 外 費 用	265,660	440,843	△ 175,183
特 別 損 失	505,593	381,479	124,114
予 備 費	10,000	10,000	—
支 出 合 計	26,671,924	26,950,359	△ 278,435

営業損益	△ 5,634,110	△ 3,665,343	△ 1,968,767
経常損益	△ 558,175	394,958	△ 953,133
特別損益	△ 505,593	△ 381,479	△ 124,114
純損益	△ 1,063,768	13,479	△ 1,077,247
累積欠損金(△)	△ 33,970,929	△ 31,933,320	△ 2,037,609

(資本的収支)

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
(収 入)			
資本的収入	2,147,102	1,875,904	271,198
企業債	1,887,000	1,566,000	321,000
出 資 金	200,000	300,000	△ 100,000
その他資本収入	60,102	9,904	50,198
収入合計	2,147,102	1,875,904	271,198

(支 出)			
資本的支出	4,337,317	4,190,233	147,084

款 項	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
建 設 改 良 費	1,986,607	1,617,146	369,461
企 業 債 償 還 金	1,540,710	1,363,087	177,623
借 入 金 返 還 金	800,000	1,200,000	△ 400,000
予 備 費	10,000	10,000	—
支 出 合 計	4,337,317	4,190,233	147,084

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2,190,215千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で措置するものとする。

3 事項別説明

(収益的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(収 入)				
1 営 業 収 益	20,362,510	22,691,810	△ 2,329,300	
1 運 輸 収 益	16,415,656	18,691,277	△ 2,275,621	乗車料金 10,644,166 敬老パス等負担金 5,771,490
2 運 輸 雑 収	3,946,854	4,000,533	△ 53,679	バス事業運営費負担金 3,090,000 広告収入 207,396 土地物件貸付料 159,682 雑収 489,776
2 営 業 外 収 益	5,419,395	4,418,239	1,001,156	
1 受取利息及び 配 当 金	100	100	—	預金利子等
2 一般会計負担金	115,869	124,075	△ 8,206	児童手当負担金
3 一般会計補助金	5,227,108	4,216,565	1,010,543	資本費補助金 1,135,961 地域巡回路線等維持補助金 3,405,000 基礎年金拠出金公的負担経費補助金 409,759 共済追加費用補助金 144,452 抗ウイルス加工補助金 131,936
4 県 補 助 金	20,000	20,000	—	運輸事業振興補助金
5 長期前受金戻入	31,402	35,645	△ 4,243	減価償却等に伴う長期前受金の戻入
6 雑 収 益	24,916	21,854	3,062	不用品売却代 13,490 雑収 11,426
収 入 合 計	25,781,905	27,110,049	△ 1,328,144	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(支 出)				
1 営 業 費 用	25,890,671	26,118,037	△ 227,366	
1 車 両 保 存 費	2,384,469	2,201,548	182,921	自動車車両の維持補修費 (人件費) 802,043 技術職員 97人 計 97人 (経 費) 1,582,426
2 諸構築物保存費	207,937	229,100	△ 21,163	建物等の維持補修費 (人件費) 59,473 技術職員 6人 計 6人 (経 費) 148,464
3 運 転 費	20,258,288	20,553,543	△ 295,255	自動車運転費 (人件費) 11,531,409 事務職員 27人 技術職員 1,287人 計 1,314人 (経 費) 8,726,879

4 運輸管理費	986,223	1,039,798	△ 53,575	自動車運転の管理費 (人件費) 590,299 事務職員 22人 技術職員 36人 計 58人 (経費) 395,924
5 研修所費	49,280	49,237	43	研修所の運営費 自動車運送事業分担率 20% (人件費) 44,823 (経費) 4,457
6 一般管理費	680,191	653,970	26,221	自動車運送事業分担率 20% (人件費) 358,204 (経費) 321,987
7 減価償却費	1,324,283	1,390,841	△ 66,558	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
2 営業外費用	265,660	440,843	△ 175,183	
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	17,291	18,106	△ 815	利子及び手数料
2 消費税及び 地方消費税	246,349	419,717	△ 173,368	
3 雑支出	2,020	3,020	△ 1,000	
3 特別損失	505,593	381,479	124,114	
1 その他特別損失	505,593	381,479	124,114	敬老パス等負担金過年度精算金 385,777 資本費補助金過年度精算金 119,816
4 予備費	10,000	10,000	—	
1 予備費	10,000	10,000	—	
支出合計	26,671,924	26,950,359	△ 278,435	

(資本的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(収 入)				
1 企 業 債	1,887,000	1,566,000	321,000	
1 自動車運送事業 公 債	1,887,000	1,566,000	321,000	乗合自動車の購入費等にあてる起債
2 出 資 金	200,000	300,000	△ 100,000	
1 高速度鉄道事業 会 計 出 資 金	200,000	300,000	△ 100,000	経営基盤強化出資金
3 その他資本収入	60,102	9,904	50,198	
1 その他資本収入	60,102	9,904	50,198	受託工事収入等
収 入 合 計	2,147,102	1,875,904	271,198	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(支 出)				
1 建設改良費	1,986,607	1,617,146	369,461	
1 建物費	813,186	544,586	268,600	停留所施設の整備費等
2 電線路費	64,762	84,060	△ 19,298	電気設備工事費
3 車両費	719,757	758,424	△ 38,667	乗合自動車の購入費等
4 機械器具費	337,523	214,678	122,845	事業用機械器具の購入費等
5 リース資産 購入費	19,289	14,777	4,512	情報システム機器リース料
6 受託工事費	32,090	621	31,469	
2 企業債償還金	1,540,710	1,363,087	177,623	
1 企業債償還金	1,540,710	1,363,087	177,623	
3 借入金返還金	800,000	1,200,000	△ 400,000	
1 借入金返還金	800,000	1,200,000	△ 400,000	一般会計借入金の返還金 400,000 高速度鉄道事業会計借入金の返還金 400,000
4 予備費	10,000	10,000	—	
1 予備費	10,000	10,000	—	

支 出 合 計	4,337,317	4,190,233	147,084	
---------	-----------	-----------	---------	--

(建設改良事業の主な内容)

区 分	金 額 千円
バ ス 車 両 の 更 新 25 両	647,502
停 留 所 施 設 の 整 備 ・ 改 修	162,508
ド ラ イ ブ レ コ ー ダ ー の 機 能 強 化	58,583
バ ス タ ー ミ ナ ル の 環 境 改 善	184,379
バ ス 車 内 へ の 液 晶 式 停 留 所 名 表 示 器 の 設 置	7,060
施 設 の 整 備	926,575
計	1,986,607

4 債務負担行為

○ 債務負担行為に関する調書

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	令和2年度末までの 支払義務発生・見込額		令和3年度以降の 支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳	
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	企 業 債 千円	消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 等 千円
本郷バスターミナルの 改修	142,000		—	4	142,000	142,000	—
制服のリニューアル	219,000		—	4	219,000	—	219,000

5 企 業 債

起債の目的	自動車運送事業整備費にあてるため
限 度 額	1,887,000千円
起債の方法	普通貸借又は証券発行
利 率	年 5.0%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)
償還の方法	起債年度より据置期間をふくめ、40年度間以内に毎年元利もしくは元金均等の方法により、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は借換えすることができる。政府資金を借り入れる場合は、その融資条件による。

6 一 時 借 入 金

限 度 額	9,000,000千円
-------	-------------

7 職員定員表

科 目 \ 職 名	事 務 職 員 人	技 術 職 員 人	計 人
自 動 車 運 送 事 業 費	49	1,426	1,475
車 両 保 存 費	—	97	97
諸 構 築 物 保 存 費	—	6	6
運 転 費	27	1,287	1,314
運 輸 管 理 費	22	36	58
関 連 費	31	11	42
研 修 所 費	—	5	5
一 般 管 理 費	31	6	37
合 計	80	1,437	1,517

高 速 度 鉄 道 事 業 会 計

1 業 務 の 予 定 量

区 分		本 年 度	前 年 度	増 △ 減
最 多 運 転 車 両 数 (両)	1 日 平 均	680 (117編成)	680 (117編成)	—
運 転 キ ロ (k m)	1 日 平 均	189,300	189,700	△ 400
	年 間	69,094,500	69,240,500	△ 146,000
乗 車 人 員 (人)	1 日 平 均	1,154,900	1,373,700	△ 218,800
	年 間	421,538,500	501,400,500	△ 79,862,000
運 輸 収 益 (千円)	1 日 平 均	199,033	236,381	△ 37,348
	年 間	72,647,190	86,279,189	△ 13,631,999

2 収支の予定額

(収益的収支)

款 項	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円
(収 入)			
高速度鉄道事業収益	87,922,769	102,100,358	△ 14,177,589
営 業 収 益	80,194,383	93,864,085	△ 13,669,702
営 業 外 収 益	7,728,386	8,236,273	△ 507,887
収 入 合 計	87,922,769	102,100,358	△ 14,177,589

(支 出)			
高速度鉄道事業費	84,494,981	86,617,657	△ 2,122,676
営 業 費 用	75,481,453	75,567,367	△ 85,914
営 業 外 費 用	8,504,238	10,704,491	△ 2,200,253
特 別 損 失	499,290	335,799	163,491
予 備 費	10,000	10,000	—
支 出 合 計	84,494,981	86,617,657	△ 2,122,676

営 業 損 益	△ 51,102	12,393,088	△ 12,444,190
経 常 損 益	2,880,853	14,740,071	△ 11,859,218
特例債元金償還補助金 (一般会計補助金の内数)	2,924,000	3,350,000	△ 426,000
実 質 経 常 損 益	△ 43,147	11,390,071	△ 11,433,218
特 別 損 益	△ 499,290	△ 335,799	△ 163,491
純 損 益	2,381,563	14,404,272	△ 12,022,709
累 積 欠 損 金 (△)	△ 205,317,380	△ 184,465,733	△ 20,851,647

支払利息及び企業債取扱諸費4,588,223千円の財源の一部にあてるため、企業債（資本費負担緩和分）1,596,000千円を借り入れる。

（資本的収支）

款 項	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
（ 収 入 ）			
資 本 的 収 入	15,684,926	18,942,031	△ 3,257,105
企 業 債	10,977,000	11,702,000	△ 725,000
出 資 金	2,435,000	2,992,000	△ 557,000
貸 付 金 返 還 金	400,000	600,000	△ 200,000
一 般 会 計 補 助 金	1,215,732	2,224,175	△ 1,008,443
国 庫 補 助 金	160,366	1,094,561	△ 934,195

款 項	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
県 補 助 金	30,000	30,000	—
そ の 他 資 本 収 入	466,828	299,295	167,533
収 入 合 計	15,684,926	18,942,031	△ 3,257,105

(支 出)			
資 本 的 支 出	48,481,812	54,306,411	△ 5,824,599
建 設 改 良 費	13,185,145	15,883,053	△ 2,697,908
企 業 債 償 還 金	35,086,667	38,113,358	△ 3,026,691
出 資 金	200,000	300,000	△ 100,000
予 備 費	10,000	10,000	—
支 出 合 計	48,481,812	54,306,411	△ 5,824,599

資本的収入額（高速度鉄道事業特例債1,247,000千円を除く。）が資本的支出額に対し不足する額34,043,886千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額等で措置するものとする。

（資金不足の状況）

区 分	本 年 度 予 算 額 千円	前 年 度 予 算 額 千円	増 △ 減 千円
資 金 不 足 額 (△)	△ 40,588,490	△ 10,211,393	△ 30,377,097
実 質 資 金 不 足 額 (△)	△ 189,365,948	△ 170,982,364	△ 18,383,584

3 事 項 別 説 明

(収益の収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(収 入)				
1 営 業 収 益	80,194,383	93,864,085	△ 13,669,702	
1 運 輸 収 益	72,647,190	86,279,189	△ 13,631,999	乗車料金 65,522,254 敬老パス等負担金 7,124,936
2 運 輸 雑 収	7,547,193	7,584,896	△ 37,703	土地物件貸付料 3,379,931 広告収入 3,322,489 連絡運輸分担金 140,267 雑収 704,506
2 営 業 外 収 益	7,728,386	8,236,273	△ 507,887	
1 受 取 利 息 及 び 配 当 金	10,100	11,000	△ 900	配当金等
2 一 般 会 計 負 担 金	209,093	210,359	△ 1,266	児童手当負担金
3 一 般 会 計 補 助 金	4,026,070	4,418,503	△ 392,433	特例債元金償還補助金 2,924,000 特例債利子補助金 38,597 基礎年金拠出金公的負担経費補助金 830,603 抗ウイルス加工補助金 84,639 特別減収対策企業債利子補助金 8,000 建設改良債利子補助金 140,231
4 長 期 前 受 金 戻 入	3,422,739	3,472,543	△ 49,804	減価償却等に伴う長期前受金の戻入
5 雑 収 益	60,384	123,868	△ 63,484	不用品売却代 31,317 雑収 29,067
収 入 合 計	87,922,769	102,100,358	△ 14,177,589	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(支 出)				
1 営 業 費 用	75,481,453	75,567,367	△ 85,914	
1 線 路 保 存 費	8,682,410	9,017,692	△ 335,282	軌道、諸構築物の維持補修費 (人件費) 3,167,600 事務職員 29人 技術職員 321人 計 350人 (経 費) 5,514,810
2 電 路 保 存 費	3,792,618	3,755,562	37,056	電車線、変電設備等の維持補修費 (人件費) 2,033,949 事務職員 1人 技術職員 222人 計 223人 (経 費) 1,758,669
3 車 両 保 存 費	5,335,312	5,319,571	15,741	電車車両の維持補修費 (人件費) 3,313,192 事務職員 11人 技術職員 366人 計 377人 (経 費) 2,022,120
4 運 転 費	12,552,200	12,639,341	△ 87,141	電車運転費 (人件費) 8,453,706 事務職員 8人 技術職員 874人 計 882人 (経 費) 4,098,494

5 運 輸 費	16,120,506	16,144,011	△ 23,505	駅務、信号保安経費及びバス事業運営費負担金 (人件費) 7,996,692 事務職員 16人 技術職員 879人 計 895人 (経 費) 8,123,814 うちバス事業運営費負担金 3,090,000
6 運 輸 管 理 費	1,812,211	1,778,257	33,954	電車運転、運輸の管理費 (人件費) 476,610 事務職員 14人 技術職員 33人 計 47人 (経 費) 1,335,601
7 研 修 所 費	196,984	196,847	137	研修所の運営費 高速度鉄道事業分担率 80% (人件費) 179,155 (経 費) 17,829
8 一 般 管 理 費	2,719,497	2,615,404	104,093	高速度鉄道事業分担率 80% (人件費) 1,431,550 (経 費) 1,287,947
9 減 価 償 却 費	24,269,715	24,100,682	169,033	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
2 営業外費用	8,504,238	10,704,491	△ 2,200,253	
1 支払利息及び 企業債取扱諸費	4,588,223	5,662,047	△ 1,073,824	利子及び手数料等
2 消費税及び 地方消費税	3,910,935	5,035,364	△ 1,124,429	
3 雑 支 出	5,080	7,080	△ 2,000	
3 特 別 損 失	499,290	335,799	163,491	
1 その他特別損失	499,290	335,799	163,491	敬老パス等負担金過年度精算金
4 予 備 費	10,000	10,000	—	
1 予 備 費	10,000	10,000	—	
支 出 合 計	84,494,981	86,617,657	△ 2,122,676	

(資本的収支)

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(収 入)				
1 企 業 債	10,977,000	11,702,000	△ 725,000	
1 高速度鉄道事業 公 債	9,730,000	10,085,000	△ 355,000	建設改良費にあてる起債
2 高速度鉄道事業 特 例 債	1,247,000	1,617,000	△ 370,000	企業債の利子支払額の一部にあてる起債
2 出 資 金	2,435,000	2,992,000	△ 557,000	
1 一般会計出資金	2,435,000	2,992,000	△ 557,000	建設改良費出資金
3 貸 付 金 返 還 金	400,000	600,000	△ 200,000	
1 貸 付 金 返 還 金	400,000	600,000	△ 200,000	自動車運送事業会計貸付金の返還金
4 一般会計補助金	1,215,732	2,224,175	△ 1,008,443	
1 一般会計補助金	1,215,732	2,224,175	△ 1,008,443	建設改良費補助金
5 国 庫 補 助 金	160,366	1,094,561	△ 934,195	
1 国 庫 補 助 金	160,366	1,094,561	△ 934,195	建設改良費補助金
6 県 補 助 金	30,000	30,000	—	
1 県 補 助 金	30,000	30,000	—	建設改良費補助金

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
7 その他資本収入	466,828	299,295	167,533	
1 その他資本収入	466,828	299,295	167,533	工事費収入等
収 入 合 計	15,684,926	18,942,031	△ 3,257,105	

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
(支 出)				
1 建設改良費	13,185,145	15,883,053	△ 2,697,908	
1 用地費	4,551	2,990	1,561	地上権取得費等
2 建物費	321,809	419,775	△ 97,966	建物の改良費等
3 構築費	3,466,627	5,931,692	△ 2,465,065	停車場、高架の改良費等
4 変電所費	1,941,459	991,265	950,194	変電設備の改良費等
5 電線路費	1,778,109	4,111,290	△ 2,333,181	電路設備の改良費等
6 車両費	4,088,402	2,844,085	1,244,317	車両の購入費等
7 機械器具費	1,443,423	1,364,095	79,328	事業用機械器具の購入費等
8 リース資産 購入費	109,876	104,991	4,885	情報システム機器等のリース料
9 受託工事費	30,889	112,870	△ 81,981	
2 企業債償還金	35,086,667	38,113,358	△ 3,026,691	
1 企業債償還金	35,086,667	38,113,358	△ 3,026,691	高速度鉄道事業公債償還金 18,573,153 高速度鉄道事業資本費平準化債 償還金 3,404,000 高速度鉄道事業特例債償還金 2,924,000 高速度鉄道事業資本費負担緩和分 企業債償還金 10,185,514

項 目	本年度予算額 千円	前年度予算額 千円	増 △ 減 千円	主 な る 説 明 千円
3 出 資 金	200,000	300,000	△ 100,000	
1 出 資 金	200,000	300,000	△ 100,000	自動車運送事業経営基盤強化出資金
4 予 備 費	10,000	10,000	—	
1 予 備 費	10,000	10,000	—	
支 出 合 計	48,481,812	54,306,411	△ 5,824,599	

(建設改良事業の主な内容)

区 分	金 額 千円
鶴 舞 線 可 動 式 ホ ー ム 柵 の 整 備	30,000
構 造 物 の 耐 震 補 強	422,824
駅 の リ ニ ュ ー ア ル	835,877
駅 構 内 ト イ レ の リ ニ ュ ー ア ル	418,766
駅 ホ ー ム の 冷 房 化	26,398
名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消	374,473
駅エレベーターの整備（伏見駅、御器所駅、本山駅）	241,892
車 両 の 更 新 （ 鶴 舞 線 ） 18 両（3編成）	2,886,003
運 行 情 報 提 供 大 型 モ ニ タ ー の 導 入	11,232
施 設 の 整 備	7,937,680
計	13,185,145

4 債務負担行為

○ 債務負担行為に関する調書

(期間の数字は年度を示す。)

事 項	限 度 額 千円	令和2年度末までの 支払義務発生・見込額		令和3年度以降の 支払義務発生予定額		左 の 財 源 内 訳			
		期 間	金 額 千円	期 間	金 額 千円	一般会計 補 助 金 千円	国庫補助金 千円	企 業 債 千円	消費税資本的 収支調整額等 千円
高速度鉄道建設改良 (平成31年第19号議決)	10,000,000	2	3,049,967	3～4	5,225,221	—	—	4,996,000	229,221
高速度鉄道建設改良 (令和2年第19号議決)	10,000,000		—	3～5	10,000,000	285,000	257,000	8,859,000	599,000
高速度鉄道建設改良	10,000,000		—	4～6	10,000,000	285,000	257,000	9,449,000	9,000
廃棄物の処理委託	22,000		—	4	22,000	—	—	—	22,000
制服のリニューアル	424,000		—	4	424,000	—	—	—	424,000

5 企 業 債

起債の目的	高速度鉄道事業建設改良費及び利子支払にあてるため		
限 度 額	12,573,000千円		
	高速度鉄道事業建設改良費	9,730,000千円	
	高速度鉄道事業特例債	1,247,000千円	
	高速度鉄道事業資本費負担緩和分企業債	1,596,000千円	
起債の方法	普通貸借又は証券発行		
利 率	年 5.0%以内（ただし、利率見直し方式で借り入れる政府資金及び地方公共団体金融機構資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）		
償還の方法	起債年度より据置期間をふくめ、40年度間以内に毎年元利もしくは元金均等の方法により、又は満期日に元金を一括して償還する。ただし、財政の都合により据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は借換えすることができる。政府資金を借り入れる場合は、その融資条件による。		

6 一 時 借 入 金

限 度 額	44,000,000千円
-------	--------------

7 職員定員表

科 目 \ 職 名	特 別 職 人	事 務 職 員 人	技 術 職 員 人	計 人
高 速 度 鉄 道 事 業 費	—	79	2,695	2,774
線 路 保 存 費	—	29	321	350
電 路 保 存 費	—	1	222	223
車 両 保 存 費	—	11	366	377
運 転 費	—	8	874	882
運 輸 費	—	16	879	895
運 輸 管 理 費	—	14	33	47
関 連 費	1	125	32	158
研 修 所 費	—	4	11	15
一 般 管 理 費	1	121	21	143
合 計	1	204	2,727	2,932

令和3年度予算の概要

1 重要事項

取り組みの方針

新型コロナウイルス感染症の影響など社会経済情勢の変化に的確に対応するとともに、名古屋市営交通事業経営計画2023の理念である「安全最優先のもと、快適さ、便利さを積極的に高めることにより、誰もが安心して利用できる市バス・地下鉄」を目指し、計画に掲げた施策・事業を着実に推進します。

① バスの運行・施設

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 新型コロナウイルス感染症対策

- | | | |
|----------------------------------|------|------------|
| (ア) バス車両の抗ウイルス加工 | (事業費 | 131,936千円) |
| 手すりやつり革をはじめ、車内全体を抗ウイルス・抗菌加工 994両 | | |
| (イ) バス車両の消毒清掃 | (事業費 | 43,253千円) |
| 車内の定期清掃時に手すり・つり革等の消毒清掃を実施 | | |

イ 事業環境変化への対応

(ア) 深夜時間帯の運行

深夜1号、2号系統及び金曜日・休前日の最終バス延長の休止継続

(2) 安全・安心の推進

ア 安全対策の強化

(ア) ドライブレコーダーの機能強化

(事業費 62,436千円)

バス車両のドライブレコーダーの更新及びカメラの増設 123両

(イ) バス車両への安全確認放送装置の設置

(事業費 7,610千円)

バス車両周辺の歩行者や自転車利用者に対し、市バスの接近を音声で周囲に知らせる装置を設置 116両

(3) 快適・便利の向上

ア 施設のリニューアル

(ア) バスターミナルの環境改善

(事業費 167,632千円)

a 本郷バスターミナルの改修(令和4年度完成予定)

b 名古屋駅バスターミナルの空調設備の設置

(イ) バス停留所施設の整備・改修 (事業費 162,508千円)

快適なバス待ち環境に向けて、利用状況等を踏まえ照明付標識、上屋及びベンチの整備・改修等を実施

イ 人にやさしい環境づくり

(ア) バス車両の更新 (事業費 647,502千円)

老朽化したバス車両の更新 25両

ウ わかりやすく利用しやすい環境づくり

(ア) バス車内への液晶式停留所名表示器の設置 (事業費 7,060千円)

ピクトグラム等による運行案内が可能な液晶式停留所名表示器をバス車内に設置 25両

(イ) バス停留所へののりば番号の表示 (事業費 2,100千円)

わかりやすい案内を行うため、バス停留所にのりば番号を表示

(4) 安定した運営基盤の確立

ア 人材の確保・育成

(ア) 安定的な人材確保のための取り組みの実施 (事業費 2,614千円)

大型第二種免許未取得者のバス運転士への採用及び免許取得費用の助成

- (イ) 働きやすい環境づくり (事業費 49,344千円)
乗務員待機所等の整備

イ 経営基盤の強化

- (ア) 長期借入金の返還 (返還額 800,000千円)
一般会計、高速度鉄道事業会計へそれぞれ400百万円を返還

- (イ) 経営基盤強化出資金の繰入 (繰入額 200,000千円)
高速度鉄道事業会計から200百万円を繰入

- (ウ) バス事業運営費負担金の繰入 (繰入額 3,090,000千円)
高速度鉄道事業会計から3,090百万円を繰入

- (エ) 高年齢者割引全線定期券（特得60バス定期）の見直し（令和4年度変更予定）
制度変更に向けた機器改修の実施

現行	変更後
全日 終日使用可	平日 昼間時間帯（10～16時）使用可 土・日・休日 終日使用可

（令和4年度増収見込額 124,302千円）

② 地下鉄の運行・施設

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 新型コロナウイルス感染症対策

- | | | |
|----------------------------------|------|-----------|
| (ア) 地下鉄車両の抗ウイルス加工 | (事業費 | 84,639千円) |
| 手すりやつり革をはじめ、車内全体を抗ウイルス・抗菌加工 732両 | | |
| (イ) 地下鉄車両の消毒清掃 | (事業費 | 84,480千円) |
| 車内の定期清掃時に手すり・つり革等の消毒清掃を実施 | | |
| (ウ) 改札窓口へのアクリル板等の設置 | (事業費 | 37,085千円) |
| 飛沫感染防止のため、改札窓口へアクリル板等を設置 | | |
| (エ) 駅構内トイレへの手洗い石鹸の設置 | (事業費 | 16,000千円) |
| お客さま用手洗い石鹸を全駅の構内トイレに設置 | | |

イ 事業環境変化への対応

- | |
|---------------------------|
| (ア) 深夜時間帯の運行 |
| 東山線の金曜日及び休前日の終電延長の休止継続 |
| (イ) 地下鉄駅コンシェルジュの休止 |
| 国内外の旅行者が減少しているため、駅への配置を休止 |

(2) 安全・安心の推進

ア 安全対策の強化

- | | | |
|---|------|------------|
| (ア) 鶴舞線可動式ホーム柵の整備
可動式ホーム柵の設置に向けた設計 | (事業費 | 30,000千円) |
| (イ) 駅構内カメラの機能強化 | (事業費 | 121,651千円) |
| a 駅ホームカメラの録画化
名城線・名港線、東山線（東山線は令和4年度稼働予定） | | |
| b 駅構内カメラの増設
安全利用のため、トイレの出入口付近を撮影するカメラを増設
瑞穂区役所駅始め4駅 | | |

イ 自然災害への備え

- | | | |
|--|------|------------|
| (ア) 地下鉄構造物の耐震補強
東日本大震災を踏まえた高架及び地下構造物の柱の補強
実施箇所 4駅及び2区間 | (事業費 | 422,824千円) |
|--|------|------------|

ウ 計画的な維持管理

- | | |
|---|-------------------|
| (ア) 第2栄変電所の移設
旧名城工場跡地に変電所建屋を建設 | (事業費 121,910千円) |
| (イ) 地下鉄構造物の長寿命化
トンネル及び高架構造物について、計画的な補修を実施 | (事業費 282,966千円) |
| (ウ) 地下鉄電気設備の更新
地下鉄の電気設備（変電設備、電路設備、信号設備、通信設備）について、計画的な更新を実施 | (事業費 3,424,813千円) |
| (エ) 地下鉄駅エレベーター、エスカレーターの更新
エレベーターやエスカレーターについて、計画的な更新を実施 | (事業費 507,810千円) |
| (オ) 地下鉄車両の主要電気機器更新
車両を安全に長く使用するため、計画的な更新を実施 | (事業費 1,103,404千円) |

(3) 快適・便利の向上

ア 施設のリニューアル

(ア) 地下鉄駅のリニューアル (事業費 835,877千円)

明るく清潔感のある快適・便利な駅空間を提供するため、駅全体の壁・床・天井・照明などのリニューアルを実施
工事 千種駅（令和4年度完成予定）
設計 栄駅（名城線）、名城公園駅

(イ) 駅構内トイレのリニューアル (事業費 423,806千円)

利用者の快適性向上に向け、全ての便器について洋式化、温水洗浄便座の設置等の改修を実施
工事 久屋大通駅始め8駅8箇所
設計 藤が丘駅始め4駅4箇所

(ウ) 地下鉄駅ホームの冷房化 (事業費 26,398千円)

工事 千種駅（令和4年度完成予定）
設計 名城公園駅、御器所駅

イ 人にやさしい環境づくり

(ア) 名城線・名港線におけるホームと車両の段差・隙間の解消 (事業費 374,473千円)

車いす（ベビーカー）スペースがある1番及び18番乗降口の改修

- (イ) 地下鉄駅エレベーターの整備等 (事業費 267,892千円)
工事 伏見駅、御器所駅
設計 御器所駅
支障物移設調査 本山駅
地下鉄駅の利用実態調査
次期エレベーター整備計画を策定するため、お客さまの利用状況を把握
- (ウ) 地下鉄鶴舞線車両の更新 (事業費 2,886,186千円)
車いす（ベビーカー）スペース、液晶式車内案内表示装置、車内カメラなどを備えた車両に更新 18両（3編成）
- (エ) 駅構内照明のLED化 (事業費 63,283千円)
環境負荷を低減するため、駅構内の照明を省エネ効果の高いLEDへ改修

ウ わかりやすく利用しやすい環境づくり

- (ア) 地下鉄運行情報提供大型モニターの導入（令和4年度稼働予定） (事業費 11,232千円)
改札口付近に、運行情報等を画像や多言語で表示する大型モニターを設置
名古屋駅、栄駅、金山駅

(4) まちの活性化への貢献

ア 拠点エリアの駅機能強化

- (ア) リニア中央新幹線建設工事等への対応 (事業費 468,689千円)
建設工事に伴う地下鉄名古屋駅施設の仮移転等
- (イ) 主要駅の混雑緩和対策の検討 (事業費 7,295千円)
東山線名古屋駅の混雑緩和を図るため、桜通線名古屋駅での実証実験に向けた準備 (令和4年度実施予定)

(5) 安定した運営基盤の確立

ア 人材の確保・育成

- (ア) 働きやすい環境づくり (事業費 159,834千円)
女性職員用施設の設置や仮眠室の個室化等を実施

イ 経営基盤の強化

- (ア) 地下鉄のワンマン運転化の拡大 (削減人員 12人)
名城線・名港線可動式ホーム柵の設置完了に伴い、業務の効率化のため、ワンマン運転化を順次実施

③ 両事業の管理・営業

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

ア 新型コロナウイルス感染症対策

(ア) テレワークの推進 (事業費 1, 633 千円)

テレワークを実施するための通信環境の整備

(イ) 職員向け衛生用品の配備 (事業費 17, 583 千円)

マスク、手指消毒液、清掃用消毒液等の購入

イ 事業環境変化への対応

(ア) 市バス・地下鉄の利用実態調査 (事業費 9, 000 千円)

「新しい生活様式」の定着による利用動向の変化等を把握するための調査

(2) 安全・安心の推進

ア 安全対策の強化

(ア) 運輸安全マネジメントの推進 (事業費 13, 859 千円)

ヒヤリ・ハット情報を活用した事故等の未然防止策及び外部専門家の支援を受けた内部監査の実施

(3) 快適・便利の向上

ア わかりやすく利用しやすい環境づくり

- (ア) 旅行者向け券売機の設置（令和４年度稼働予定）（事業費 12,551千円）

観光スポット、駅番号などからの検索により乗車券を購入できる機能などを備えた券売機を設置
名古屋駅、栄駅、金山駅

- (イ) 乗車券販売のキャッシュレス化（事業費 218,129千円）

定期券購入におけるクレジットカード利用の拡大

現状 サービスセンターで、市バス・地下鉄の定期券のみ購入可能

今後 自動券売機（名古屋駅４台、栄駅３台、金山駅２台の計９台の改修）及びサービスセンターで、市バス・地下鉄の定期券及び他社線連絡定期券を購入可能

(4) まちの活性化への貢献

ア 効果的な利用促進策の展開

- (ア) 市営交通１００周年記念事業の実施（事業費 66,331千円）

令和４年度の市営交通１００周年記念に向けた機運醸成事業の実施

(5) 安定した運営基盤の確立

ア 人材の確保・育成

(ア) 制服の機能性向上

(事業費

債務負担行為)

業務をより安全・快適に行えるようにするための制服のリニューアル（令和4年度着用開始予定）

イ 経営基盤の強化

(ア) 資産の有効活用

(事業費

20,492千円)

a 旧名城工場跡地の貸付

b 本郷バスターミナル内店舗の整備（令和4年度完成予定）

(イ) 広告料収入の確保

デジタルサイネージ広告におけるAI活用の試行実施

名古屋駅、栄駅

2 財政支援

(1) バス

(単位 千円)

区 分			3 年 度	2 年 度	増 △ 減	
一 般 会 計	補 助 金	資 本 費 補 助 金	1,016,145	1,144,903	△ 128,758	
		地 域 巡 回 路 線 等 維 持 補 助 金	3,405,000	2,404,000	1,001,000	
			地 域 巡 回 路 線	540,000	483,000	57,000
			そ の 他 路 線	2,865,000	1,921,000	944,000
		基礎年金拠出金公的負担経費補助金	409,759	410,657	△ 898	
		共 済 追 加 費 用 補 助 金	144,452	154,303	△ 9,851	
		抗 ウ イ ル ス 加 工 補 助 金	131,936	—	131,936	
		小 計	5,107,292	4,113,863	993,429	
	計	児 童 手 当 負 担 金	115,869	124,075	△ 8,206	
		計	5,223,161	4,237,938	985,223	
地下鉄	経 営 基 盤 強 化 出 資 金		200,000	300,000	△ 100,000	
県	運 輸 事 業 振 興 補 助 金		20,000	20,000	—	
合 計			5,443,161	4,557,938	885,223	

(2) 地下鉄

(単位 千円)

区 分			3 年 度	2 年 度	増 △ 減
一 般 会 計	補 助 金	特 例 債 元 金 償 還 補 助 金	2,924,000	3,350,000	△ 426,000
		特 例 債 利 子 補 助 金	38,597	75,638	△ 37,041
		基礎年金拠出金公的負担経費補助金	830,603	838,002	△ 7,399
		抗 ウ イ ル ス 加 工 補 助 金	84,639	—	84,639
		特別減収対策企業債利子補助金	8,000	—	8,000
		建 設 改 良 債 利 子 補 助 金	140,231	154,863	△ 14,632
		建 設 改 良 費 補 助 金	1,215,732	2,224,175	△ 1,008,443
		小 計	5,241,802	6,642,678	△ 1,400,876
	計	児 童 手 当 負 担 金	209,093	210,359	△ 1,266
		建 設 改 良 費 出 資 金	2,435,000	2,992,000	△ 557,000
		計	7,885,895	9,845,037	△ 1,959,142
国		建 設 改 良 費 補 助 金	160,366	1,094,561	△ 934,195
県		建 設 改 良 費 補 助 金	30,000	30,000	—
合 計			8,076,261	10,969,598	△ 2,893,337

